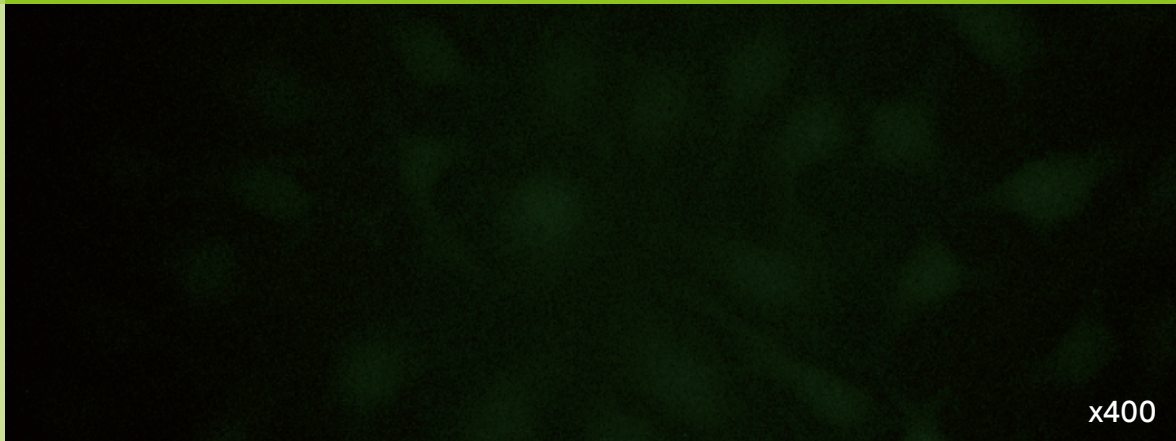


## AC-0: Negative型 (陰性型)



x400



x1,000

間期 陰性

核小体 陰性

分裂期 陰性

### 関連抗原

なし

### メモ

ここで示す画像はANA陰性で生じる染色像の1例である。ANA陰性は顕微鏡観察下で様々な染色像を示すため特定の染色型と定義できず、示した画像も比較目的の使用に限られる。陰性型で生じる様々な染色像に共通する点は、いかなる細胞小器官構造においても明確な染色が認められないことである[1]。

ANA陽性と陰性のカットオフ値をどのように設定するかには議論がある。カットオフ値設定に関する一般的な合意事項は、健康人集団コントロールを用いて各施設で決定することである。カットオフ値は、各施設で使用するHEp-2基質(スライドの製造元、ロット間差を含む)、蛍光標識二次抗体、顕微鏡とカメラの設定、血清希釈率などの要素に大きく依存する。

SLEの新しい分類基準(米国リウマチ学会・欧州リウマチ学会2019)では、1:80倍希釈をカットオフ値として推奨している[2]。

### 参考文献

1. Herold M, Klotz W, Andrade LEC, Conrad K, de Melo Cruvinel W, Damoiseaux J, et al. International Consensus on Antinuclear Antibody Patterns: defining negative results and reporting unidentified patterns. Clin Chem Lab Med. 2018;56(10):1799-802.
2. Aringer M, et al. 2019 European League Against Rheumatism/American College of Rheumatology Classification Criteria for Systemic Lupus Erythematosus. Arthritis Rheumatol. 2019;71(9):1400-12.